



## 脱臭効果試験

### 1 依頼者

トゥリーワード株式会社

### 2 検 体

ヒバ蒸留水

### 3 試験概要

検体及び対照(水)についてアンモニアの脱臭効果をガス検知管法により試験した。

### 4 試験結果

試験結果を表-1及び図-1に示した。

表-1 アンモニアの試験結果

(単位：ppm)

試料区分	経過時間 (min)			
	10	30	60	120
検体	26	14	4	<1
対照(水)	40	32	29	28
空試験	100	97	94	90

初期ガス濃度：約100 ppm

&lt;1：定量下限(1 ppm)未満

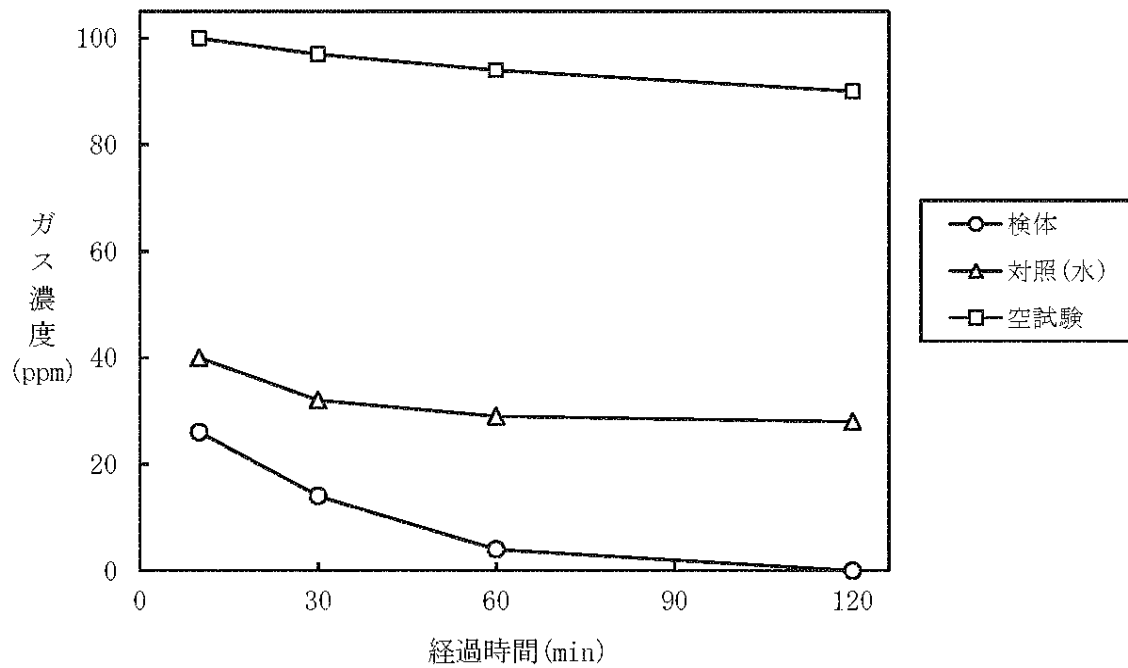


図-1 アンモニアの試験結果



## 5 試験方法

### 1) 試薬及び器具

におい袋 (35 cm×50 cm) [アラム株式会社]

アンモニア：アンモニア水 (28 %，特級) [小宗化学薬品株式会社] から発生させたガスを用いた。

ガス検知管 [株式会社 ガステック]

### 2) 操作

検体及び対照 (水) をそれぞれにおい袋に入れ，ヒートシールを施した後，空気 9 L を封入し，設定したガス濃度となるように試験対象ガスを添加した。これを静置し，経過時間ごとに袋内のガス濃度をガス検知管を用いて測定した。また，検体及び対照 (水) を入れずに同様な操作をしたものを空試験とした。

試験条件を表-2に示した。

表-2 試験条件

検体使用量	検 体：10 mL 対照 (水)：10 mL
試験対象ガス (初期ガス濃度)	アンモニア (約100 ppm)
温度条件	室温
測定時間	10, 30, 60及び120分

以 上